

デンソー山岳部 2012年 冬山合宿報告書

山城 八ヶ岳 硫黄岳～天狗岳

日程 平成24年12月28日～12月30日（予備日1日）

メンバー 山田 明（CL） 吉田 明和（SL・装備） 森 朋哉（食糧）
 亀山 誠（技術指導） 町田 修（気象） 金子 清（渉外）
 津田 廣一（会計） 西尾 隆宏（食糧） 小田 修三（記録）



東天狗山頂付近から赤岳



第1日 : 12/28（金） 曇り

【行動記録】 歩行＝4H20M

起床（5：00）— 稲子湯入口（7：45）— しらびそ小屋（9：20）—
 本沢温泉（10：40）— 夏沢峠（12：05）

薄曇りの天気の中、稲子湯の駐車場を出発。トレースがしっかり
 ついている緩やかな傾斜をゆっくりと登って行く。気温はそんなに
 低くなく、気持ち良い。しらびそ小屋まで登ってくると雪をまとっ
 た天狗岳を望むことができた。明日はあそこまで登るのかと思いな
 がらしらびそ小屋を通りすぎ、しばらく傾斜のゆるいならかな道
 をすすんでいくと日本の秘湯、本沢温泉の看板が見えてきた。日本



最高所の露天風呂のようだ。標高 2150m。何名かの登山者が入っていたようだ。自分もちょっと入って行きたいが、そこは我慢。登山道から入湯している人たちを横目に夏沢峠を目指す。夏沢峠までは意外に早く、昼には到着した。ちょっと硫黄岳まで偵察できるんじゃないか皆と冗談交じりに話ながらテント設営していると少し雪が強く降ってきた。楽しみは明日までとっておこうということでテントに入り皆で乾杯した。(記;小田)

第2日 : 12/29(土) 晴れ 歩行=7H00M

【行動記録】起床(5:30)―出発(7:00)―硫黄岳山頂(8:20)―テン場(10:00)―分岐(11:15)―西天狗(12:55)―黒百合ヒュッテ(14:00)

低気圧が近づいているとの情報から厳しい天気予想されていたが、全くの晴れ。しかし、昨晩の雪で10~15cm程度積もったようだ。大矢さんの予報では晴れになっていたそうで感服した次第。テン場を出発し、吉田さん先頭でラッセルがつづく。トレースのある登山が続くと想像していたが、合宿らしい雪山登山となった。ほどなく樹林帯を抜けると北アルプスまで遠望できた。しばらくアイゼンを効かせながら歩く。天気も良く道に迷う心配もない。山頂はそれほど風も強くなく、赤岳、阿弥陀が良く見える。下山後、テントを回収。テン場から次の分岐まではアイシン精機の方が作ってくれたトレースを歩く。天狗への分岐まで樹林帯で風もな



夏沢峠から硫黄岳

く危険はないが、逆に暑かった。分岐を通過し、樹林帯を出ると所々滑りやすい箇所があり、アイゼンをつけて歩行する。天狗に到着後、荷物をデポして西天狗へピストンした。登る途中、山スキーヤーが綺麗なシュプールを描いて下っていた。西天狗岳は下山がもったいなく感



シュプールのついた西天狗岳



じるほどの素晴らしい眺望だった。中山峠への分岐のところで帰りの危険性をチェックし、雪で埋まっていたロープを使う必要のないことを確認した。ダイヤモンド硫黄?をバックに缶ビールで祝杯。夕飯は中華丼、おしるこも美味しかった。

(記;西尾)

第3日 : 12/30(日) 曇り

【行動記録】 歩行=1H40M

起床(4:30) — 黒百合ヒュッテ発(6:40) — 1本(7:20) — しらびそ小屋通過[7:40] — 稲子湯駐車場(8:20) — 稲子湯(9:30~10:30) [入浴] — 刈谷(15:15)

本日中に再入山予定のBパーティ参加者の為に、下山を早めようと4時半に起床。うどんを食べ、元気よくテントの外へ。昨日の天気を引きずり、まだ降っていない。寒さに耐えて、全員で手際よくテントを撤収、下山準備。スコップを探すが見つからない。年寄りの私の荷を減らそうと、西尾君が私のスコップ迄自分のリュックに詰め込んでくれていた。西尾君の好意に甘え、アイゼンを装着して、そのまま出発。荷が随分と軽く感じられる。全員、快調だ！中山峠直下の急坂も、難なく通過。時々、晴れ間すら見えている。1時間もしない内に急な所を降りきり平坦部で1本。アイゼンを外す。ほどなく、夏沢峠分岐・しらびそ小屋を通過。去年の偵察時よりも早いとの事。雪道の方が、クッションとなって歩き易い様に感じる。一人、町田だけ雪団子をくっつけて苦戦。途中、スパッツを外していたが、効果があったかどうか？ 急いで降りた訳でもないが、随分と早く駐車場に8時20分に下山。共同装備を亀さんの車へ積み込み、ここまでの分を清算中には、小雨がパラパラとし出した。9時に安全と健闘を祈ってBパーティのメンバーを見送り、稲子の湯へ。熱い名泉へ浸り、3日間の疲れを癒す。帰りの車窓は、雨で何も見えず。DN 山岳部の大矢予報官の予報が、ピタリと当たっている。「大矢君は、天気もあやつってるのでは？」との冗談も出る程の的中率。3時過ぎに刈谷へ到着。天気にも恵まれて、最高のAパーティ冬山合宿が終了した。全てに感謝！感謝！ (記；津田)

<リーダー所見>

メンバーは新人、中堅、ベテランで構成され、合宿の目的である『新人の育成』を実行出来る良い機会となった。行動については全行程好天に恵まれ、事前準備として偵察山行や雪上訓練を行っていたため、安全登山で計画通り実施することが出来た。二日目には積雪があったため、硫黄岳ではラッセルを体験出来、根石の科尔〜天狗岳の行程では程良い強風、雪&岩場のアイゼン歩行と、一通りの冬山行動のトレーニングを行う事が出来た。若手部員には今後も冬山登山に積極的の参加してもらい、今回の経験を活かしてもらえればと考えます。

<食糧所見；森・西尾>

- ・冬は雪から水を作る必要があるため、水の節約(=燃料節約)&準備時間の短縮を狙いレトルトのカレー、中華丼を採用。日程が厳しいとき、軽量化が必要な時にまた利用したい。
- ・行動が割と軽めであること、テント場到着後の飲み会等を考慮し、ご飯を少な目(0.5合/人)と設定。しかし体を温めることを狙って採用した「スパイシー&辛口」カレーもあいまって、やや足りなかった。参加者が多いと個人差も大きいため量は悩ましい。(個人的には、余るよりは少な目のほうがよいと考える)
- ・ご飯の出来栄は、町田さんの新米&小田君の完璧な炊き上げで極上であった。ありがとうございました。
- ・今回参加9名テント2張りだったが、V8に全員集まると準備には手狭だったため二手に分かれた。食事時のみ全員集合としたものの、親睦のためには食事前の飲み会から全員集合できるのが理想。

<装備所見；吉田>

冬山山行に必要なゾンデ棒とビーコンは、今後の冬山参加者増加を見越して買い増しが必要である。今回、ゾンデ棒は1個不足、ビーコンは丁度の数であった。

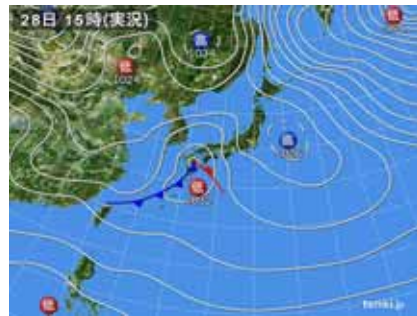
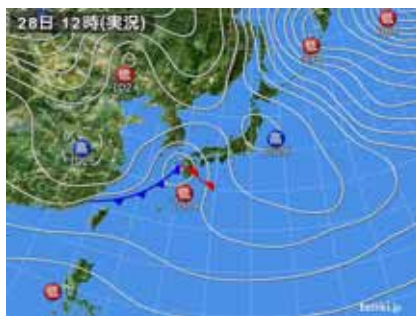
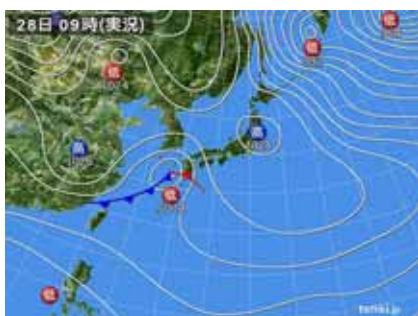
<気象報告>

12/28(金)

東シナ海で発生した低気圧が九州から四国付近に進む。

7時 稲子湯(1500m) 晴 -5℃ 北西の風 8m/s
 11時半 本沢温泉(2100m) 曇 -2℃ 西北西の風 8m/s
 13時 夏沢峠(2400m) 曇 -3℃ 西北西の風 11m/s

***夏沢峠：14時頃から雪が降り始め、翌朝までに10~25cm積もった。**

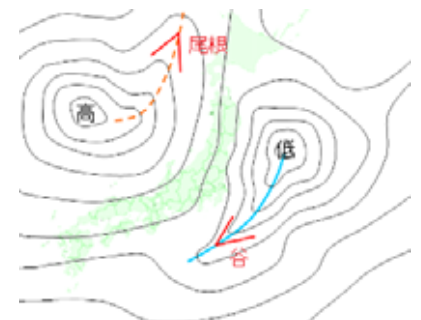
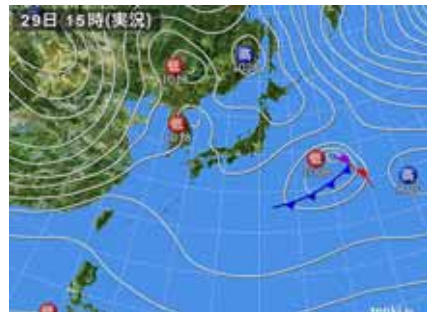
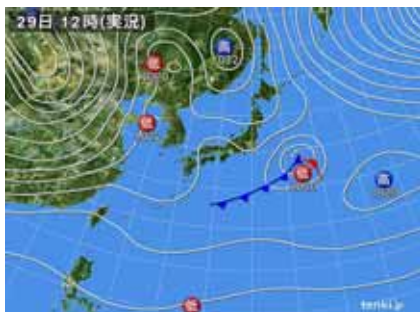
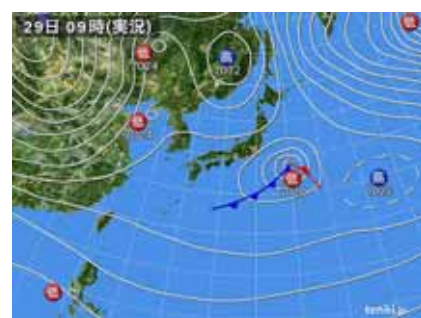


12/29(土)

低気圧は紀伊半島付近から東海地方南岸を進み、関東の東海上に抜ける。

6時 夏沢峠(2430m) 曇 -4℃ 南西の風 15m/s
 7時半 硫黄岳(2656m) 晴 -3℃ 南西の風 17m/s
 12時 天狗岳周辺(2646m) 晴 0℃ 南西の風 15m/s

***硫黄岳から黒百合ヒュッテまで終日晴れた。360度展望良好。**



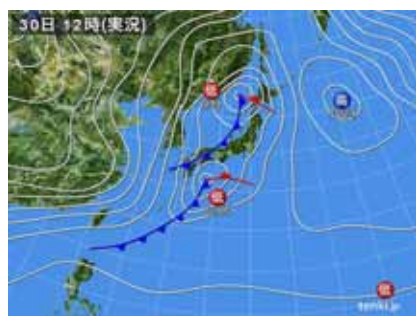
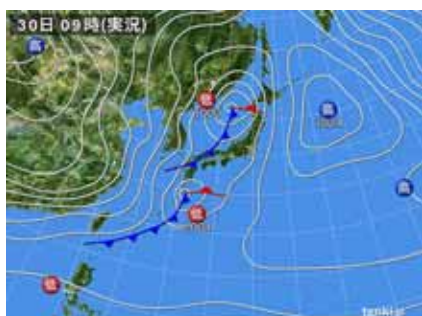
天気予測では移動性高気圧の南下(気圧の尾根)による好天気を予測できなかった。

12/30(日)

日本海に発生した低気圧が北海道の北に進む。低気圧から伸びる寒冷前線が西日本から東日本を通過する。

7時 黒百合ヒュッテ(2400m) 薄曇り 2℃ 西の風 15m/s
 11時 稲子湯(1500m) 雨 0℃ 微風

***温泉に入っていたら直ぐに雨になった。**



この気圧配置で劔岳の小窓尾根にアタックをかけた4人の岳人が尾根の取りつきで雪崩にやられている。

■感想

冬山の楽しさは自分たちで雪をかき分けて(ラッセル)ルートを切り開き、山頂を目指すことである。通常、八ヶ岳のルートは冬季でも登山者が多くトレースが割とついている。しかし28日の午後から四国沖を北上する低気圧がその日の夜間、夏沢峠にも20~30cmの降雪をもたらした。29日の硫黄岳アタックは待望の新雪ラッセルで、若手にはタイミングのよいプレゼントだった。もう一つのうれしさは、今年もいつもの顔ぶれと違ったメンバーが加わっていることだ。近年、V8一つでは収まらない参加者でうれしい限りである。29日は私の天気予測を好転した移動性高気圧のおかげで周りの山々を十分に堪能できた。下山口の稲子の湯につかりながらメンバーと山のお天気に感謝でした。

【町田】

天候に恵まれ、また若手部員(小田、西尾)の参加もあり楽しい山行ができた。
メンバーに感謝!!。

今後の若手の成長と活躍に期待したい。【金子】

易しいルート&好天にも恵まれ大いに楽しめたが、個人的には少々反省点が残った。実は出発前に風邪をひいてしまい、体調すぐれぬ中で参加してしまったのであった。参加するかどうか若干悩んだのだが、思い返せば、長い期間準備をして楽しみにしてきたこと、食糧・装備をすでに受け持っていること等、簡単には不参加を決断できない心理状態だったように思う。山行中は何とかついていくことはできたが、行動中終始呼吸が苦しくバテテしまい、残念ながら西天狗岳往復は断念する結果となってしまった。自分なりに経験を積んできたつもりだが、判断は難しいと痛感した。【森】

前半2日目は快晴で、硫黄岳と天狗岳山頂から遠くのアルプス山脈をはっきりと見渡すことができ、感動した。後半の赤岳と阿弥陀岳では、急登や岩場が多く登るのに苦労したが、その分充実した山行となった。【吉田】

5年前の冬合宿では、晴天にも関わらず、強風の為に根石の科尔での撤退であった。リベンジして根石の科尔だけは突破したいとの思いを抱いての今回の合宿であった。幸いにも、2日目のアタック日は、風もなく快晴に恵まれ、硫黄・天狗とも計画通りに登頂でき、最高の気分を味わえた。合宿前の雪訓での寒さから、マットとテントシューズを新調し、快適な冬山を経験できた。今回も9人での楽しい合宿を経験出来、感謝!感謝!です。【津田】

天候に恵まれ気持ちの良い山行ができた。前後半の山行を通して、硫黄、天狗、赤岳、阿弥陀と冬の北八ヶ岳、南八ヶ岳を満喫することができ、楽しかった。同行メンバーに感謝。【小田】

天気が悪く厳しい寒さになると思っていたが、前半の北八ヶ岳は硫黄、天狗と晴れの中でのラッセルとなり、大いに楽しい山行だった。【西尾】

<会計報告>

【費用】 一人あたり 7,000円 (Bパーティ〔後半〕参加者は 5,200円)

- ・食材・嗜好品 9,100円 : レトルト、無洗米、うどん、
お汁粉、甘酒、スープ、コーヒー・紅茶類、おつまみ他
- ・テント場 9,000円 : 黒百合ヒュッテ 1000円/人×9人×1泊
- ・高速道路 14,500円 : 往路3,900円×3台、復路2,800円×1台
- ・ガソリン代 16,450円 : 片道移動290キロ、レギュラー150円、ディーゼル140円
往路3台・復路1台分
- ・車消耗費 5,800円 : 5円/キロ(往路3台・復路1台分)
- ・その他 950円 : 黒百合ヒュッテでのお酒購入代不足分
(飲み会残金5000円にてビール等、お酒を購入)

以上合計 55,800円

【差し入れ】 不破さん: 牛しぐれ煮 ありがとうございます。